

小日向だより



令和2年 5月1日 (金)
文京区立小日向台町小学校
学校だより No. 2

ホームページ <http://www.bunkyo-ky.ed.jp/kobidai-ps/>

「あたりまえ」のありがたさ

副校長 佐藤久美子

学校では、チューリップ、スイセンと低学年の子供たちが植えた球根が美しい花を咲かせました。2月28日、休校前には、葉が落ち、幹と枝だけだったケヤキも見事に葉を茂らせ、初夏の訪れが間もないことを知らせてくれています。自然は例年と同じように季節に応じて姿を変えていることを感じます。

学校連絡日へのご協力、ご対応につきましては、大変ありがたく思っています。登校した子供たちは、長い休みが続いている中にも関わらず、しっかりと約束を守り、間を開けて整列しました。話を聞く姿も真剣で、学校に来られなかった2か月の間にも、新学年への期待や、目標を考えながら過ごしていたことを感じさせてくれる、立派な態度でした。子供たちの「おはようございます！」の声に、毎日繰り返してきた「あたりまえの毎日」が、いかに愛おしく、ありがたいことだったかを感じ、感謝する毎日です。

「Stay home 週間」ということで、家族一緒におうちで過ごす時間が増えるご家庭も多いことと思います。本校では、自分も他者も大切にしたい表現を身につけられるよう、アサーション（自分も相手も大切にしたい自己表現）プログラムを実施しています。子供たちが、自分の気持ちや考えを素直に、その場にあった適切な方法で表現できるようになるために、まずは、子供たちが自分の気持ちを話せるよう、教員が、丁寧に子供たちの話を聞くことを心がけています。

自分も相手も大切にしたい自己表現方法として、「客観的な状況」「主観的な気持ち」「提案」「代案」の4つに整理して話す方法があります。

例えば、パソコンを使って調べ物をしていたら、弟に「自分もパソコンを使いたいからどいて。」と言われたとします。「今だめ、あとにして。」と言ってしまいそうな気持ちを抑えて、このように話すと、気持ちが上手に伝わります。

客観的な状況：今、パソコンを使って調べたいことがあるんだ。

主観的な気持ち：〇〇（弟）もパソコンを使いたいんだよね。

代案：30分たったら交代するから、今はこのまま使いたいんだ。

提案：明日からはあらかじめパソコンを使う時間を話し合っておこう。

この機会にぜひ、改めて、お子さんとの会話を振り返ってみてください。あたりまえの会話の中に、温かさを感じながら、「Stay home 週間」を過ごしましょう。

ご家庭で過ごす時間が増え、保護者の皆様には、様々な工夫をしながら子供たちの生活を支えていただいていることに感謝します。引き続き、臨時休校へのご理解・ご協力をお願いします。



青空のもと、椎の木に見守られながら91名の新生を迎えました。



咲かせたスイセンも花を植



葉を茂らせたケヤキ

5月の生活目標『正しい姿勢・歩き方をしましょう』

生活指導主任 杉山 抄祐里

姿勢を正しくすると、見た目がよだけでなく、学習面や運動面、健康面など幅広いメリットがあるとされています。1つ目は集中力が増し、空間認知能力が鍛えられます。2つ目は判断力アップにつながります。3つ目は消化吸収がよくなったり、歯並びや噛み合わせがよくなったりします。姿勢を正しくする方法として、①腹式呼吸 ②声かけの工夫 ③太陽の光を浴びて、夜はぐっすり眠り生活リズムを整えることが大切だそうです。お子さんの姿勢が気になったら、「本からもう少し目を離してみたら。」「疲れているみたい、少し休憩してみたら。」など、お子さんが長時間悪い姿勢で過ごさないことを促す言葉をかけてあげてください。歩くときは、まず、地面にかかとをつけてから、足先で地面を押し出すように歩きましょう。自然に体が前に行く感覚を味わえます。散歩に行くときは、安全に気を付けましょう。

